

## 令和5年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	「日本で最も美しい村」登録地域資源の活性化事業
事業主体 (連絡先)	原村 (商工観光課 田舎暮らし推進係、TEL:0266-75-0669)
事業区分	(6)産業振興、雇用拡大に関する事業 オ その他地域の特色、個性を活かした産業振興、雇用拡大に資する事業
事業タイプ	ソフト
総事業費	401,915 円 (うち支援金: 321,000 円)

## 事業内容

原村は「日本で最も美しい村」連合に加盟して8年経過しているが内外を問わず認知度は乏しく、村の登録地域資源(ぼろ機織り・さき織り等)も次世代への継承が大きな課題である。この「美しい村」の周知と地域資源の活性化を目的として、主に以下の5つの事業を実施した。

1. ぼろ機織り・さき織りを用いた「美しい村」ロゴのタペストリーの作成
2. ぼろ機織り・さき織りの新たな販売商品等の試作
3. 美しい村を紹介する村内巡回展
4. 村内の小・中学校での「美しい村」出張講座
5. 全国・世界に対するさき織り・ぼろ機織りのPR事業



ぼろ機織り・さき織りを用いた  
「美しい村」ロゴタペストリー

## 事業効果

- ①美しい村タペストリーのデザインは、原中学校生徒7名が担当し、制作に参画した小・中学生は累計200名を超える。その他、計2回のワークショップや有志の住民参加者数は累計70名を超え、幅広い世代・人数に原村の地域資源(ぼろ機織り・さき織り)を周知することができた。
- ②若者世代をターゲットとした計5つのぼろ機織り・さき織りの新商品等の試作を契機として、生地の調達から販売に至る一連の体制を構築できたことに加えて、村内で地域資源の有効活用をテーマとした株式会社1社の起業も起こり、経済的自立に向けた一歩を踏み出すことができた。
- ③村内の学校での計8回の出張講座を実施した結果、ぼろ機織り・さき織りに興味を示し、放課後に自主的に活動に関わる生徒も現れ、将来の担い手の発掘にも貢献できた。
- ④世界11ヶ国60名の集まる世界サミットの場でぼろ機織り・さき織りのPRを行った結果、村の地域資源が国を超えて大きな反響を得られるポテンシャルがあることがわかった。

## 【目標・ねらい】

- ①内外への「美しい村」原村の周知
- ②全国有数の「美しい村」である、住民のシビックプライド(誇り)の醸成
- ③美しい村の地域資源を活用した経済的自立の実現、担い手の発掘

## ※自己評価【A】

- 【理由】左記の事業効果に加えて、
- ・着物・浴衣約10枚分の古布を再利用、端材も活用して焼却ごみ減少に貢献
  - ・本事業に関わるイベントへの出店により、村内作家さんの売上増加に貢献
  - ・「美しい村」賛同スポンサーが2件増

## 今後の取り組み

当事業を契機としたぼろ機織り・さき織りの活動の高まりを受けて、村の地域資源を活用した収益事業を担う事業者の持続的な体制づくりが次なる目標と考えている。そのためにも、自治体としては事業者のサポートを行い、美しい村の登録地域資源を活用した経済的自立を実現する全国のモデルケースとなることを目指している。また、引き続き出張講座等を通じて小・中学校との連携を図り、更なる将来の担い手の発掘にも注力する。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」: 予定を上回る効果が得られた 「B」: 予定していた効果が得られた

「C」: 一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある